

事業属性	担当課	上下水道部 経営総務課												
	作成責任者	櫻井 直樹												
	事業名	水洗化促進補助事業												
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	清掃総務費	会計	一般会計	事業コード	540318	決算付属資料	156	頁
	施策体系	施策コード	030502	施策名	下水道等を適切に維持管理する									
	開始年度	平成元年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	福知山市浄化槽維持管理事業補助金交付要綱 等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	浄化槽整備区域内の水洗化を促進することで、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図る。										
	対象者	浄化槽整備区域内の居住者	対象者数	4,043	単位あたりコスト	17.8						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	-										
	事業概要	浄化槽整備区域において、浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進するため、10人槽以下の浄化槽を設置する者に対し、設置整備事業補助金を交付する。 また、し尿と雑排水を併せて処理する浄化槽を設置している者に対し、維持管理事業補助金を交付する。										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)		
		旅費	京都府水洗化事業(浄化槽)主管課長会議							8		
需用費・役務費		郵送料等							77			
負担金補助及び交付金		浄化槽設置整備事業補助金							4,497			
負担金補助及び交付金		浄化槽維持管理事業補助金							42,471			
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	66,931	66,004	64,332	64,321	64,313					
		②補正予算										
		③流充用額										
		④繰越額計		0	0	0	0					
		前年度繰越										
		次年度繰越										
	財源内訳 (決算値)	一般財源	63,293	62,366	60,694	60,683	60,675					
		国支出金	1,819	1,819	1,819	1,819	1,819					
		府支出金	1,819	1,819	1,819	1,819	1,819					
		地方債										
		その他特財										
	主な利用特財 (N-1年度実績)	特財名称	循環型社会形成推進交付金	種類	国庫補助金	実績金額	1,321	決算付属資料	18	頁		
		特財名称	京都府浄化槽設置整備事業費補助金	種類	府補助金	実績金額	1,145	決算付属資料	24	頁		
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)	0.96 / 0	0.96 / 0	0.96 / 0	0.96 / 0						
⑤概算人件費		7,680	7,680	7,680	7,680	7,680						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		74,611	73,684	72,012	72,001							
⑦執行額		61,447	61,087	62,908								
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		91.8%	92.6%	97.8%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		水洗化率	%	67.6/	68.0/	67.8/	/	68.2	68.5
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	処理人口	人	2874/	2820/	2741/	/	2700	2670
		指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		新規設置数	基	11/14	10/14	9/14	/	14	50/5年
		単位あたりコスト		5586.1	6108.7	6989.8			
		維持管理補助金交付件数	件	1281/1283	1288/1290	1287/1295	/	1301	1320
単位あたりコスト		48.0	47.4	48.9					

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進するためには、必要性の高い事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	交付要綱等の中で、規定に沿って行うことにより、適正に効率的に進められる事業である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	浄化槽の設置増進に繋がり、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図るために有効な事業である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	設置整備事業補助金、維持管理事業補助金を交付することにより、浄化槽の設置を促進し、これを目的とすることで、生活排水による水質汚濁防止、快適で住みよい生活環境の形成を図ることができる。 (定性的な評価)		
今後の課題及び方向性	事業開始から約30年が過ぎ、当初に設置されたものの経年劣化が心配される年数となってきたが、国庫補助の見直しでは補修に対しての補助は行わず、相談等の声が高まった場合、事業の方向性についての検討も必要となる。 設置者に、浄化槽を個人設置型で設置、維持管理をしてもらう上では、この事業の必要性は高いものである。			

	所見
庁内及び外部による評価（二次評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	<p>所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○成果指標は水洗化率と処理人口を明記すべき ○近隣他市の成果の状況を把握しておくべき ○人口減少の動きとランニングコストの抑制が重要 ○下水道ビジョンが本年度で10年計画が終了し、次期ビジョンの策定が始まるが、これまでのビジョンがどこまで実現したかを評価して、次期ビジョンにつなぐべき ○あらゆる下水処理方法において、一世帯あたりコスト計画をエリアごとに算出して、政策のプライオリティを明確にすべき。

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	浄化槽整備地域において合併処理浄化槽を新設し又は維持管理している市民に対し、設置整備事業補助金又は維持管理事業補助金を交付する。また、その合併処理浄化槽から取り出された汚泥の処分費用を負担する。これらのことにより、合併処理浄化槽の設置促進・正しい維持管理を促し、もって、生活排水による水質汚濁の防止及び快適で住みよい生活環境の形成の一助とします。（事業の見直しはありません）
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 市民課												
	作成責任者	山本 美幸												
	事業名	し尿収集事業												
	会計情報	款	衛生費	項	清掃費	目	し尿処理費	会計	一般会計	事業コード	540337	決算付属資料	160	頁
	施策体系	施策コード	030502	施策名	下水道等を適切に維持管理する									
	開始年度	昭和												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	一般廃棄物処理計画												
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律												
	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び、本市の一般廃棄物処理計画に基づき処理する。												
	対象者	市民(未水洗、工事・イベント等仮設)	対象者数	-	単位あたりコスト									
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等	市内し尿収集運搬業者、上下水道部												
	事業概要	し尿収集運搬業務の委託及び業者利用者間の連絡調整												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容										H30経費	
		賃金	臨時職員賃金										1,301	
需用費		消耗品費、印刷製本費(日程表・くみ取り券他)										174		
役務費、使用料及び賃借料		電話料、郵送料、くみ取り券売りさばき手数料、複写機使用料										719		
委託料		し尿収集委託料、予備車保管業務委託料										97,416		
負担金		下水道し尿投入負担金										9,672		
関連事業														

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	112,332	115,708	114,252	112,231	116,229			
	②補正予算			0					
	③流充用額	0	0	0					
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
前年度繰越									
予算と執行の状況	一般財源	81,292	87,810	86,326	87,121	93,891			
	国支出金	0	0	0	0				
	府支出金	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0				
	その他財	31,040	27,898	27,926	25,110	22,338			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	し尿くみ取り手数料	種類	使用料及び手数料	実績金額	27,918	決算付属資料	14	頁
	特財名称	一般廃棄物処理業許可申請手数料	種類	使用料及び手数料	実績金額	8	決算付属資料	14	頁
人件費	0.53/0	0.49 / 0	0.57 / 0	0.57 / 0					
⑤概算人件費	4,240	3,920	4,560	4,560					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	116,572	119,628	118,812	116,791					
⑦執行額	111,269	112,928	109,282						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.1%	97.6%	95.6%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
					/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	し尿収集量	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			kL	2347	2276	2193	/	
		単位あたりコスト		47.4	49.6	49.8		
				/	/	/	/	
		単位あたりコスト						

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	下水道等に接続していない便所がある限り、し尿収集運搬は必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	下水道、農業集落排水、合併浄化槽等の整備事業が終了しても、下水道等に接続されていない便所があるため引き続いて事業を継続する。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	し尿収集量は減少しているが、下水道等に未接続の便所がある現状では、衛生的な環境を維持するために欠くことはできない。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	今後も災害時を含め、安定して衛生的な環境を維持するためにし尿収集運搬業務を継続する。【定性的評価】			
今後の課題及び方向性	法及び処理計画に基づき継続する。			

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>・今後も災害時を含め、安定して衛生的な環境を維持するためにし尿収集運搬業務を継続する。</p> <p>・下水道、農業集落排水、合併浄化槽等の整備事業が終了しても、下水道計画区域外の便所、区域内の下水道等に接続されていない便所や仮設便所があるため事業を継続する必要がある。</p> <p>【H30棚卸しによる見直し状況】</p> <p>・令和3年度を目標に、市の財政負担の軽減のための汲み取り料の改定について検討する。</p>
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 生活環境課						
	作成責任者	井上 和成						
	事業名	公衆便所管理事業						
	会計情報	款 衛生費	項 保健衛生費	目 環境衛生費	会計 一般会計	事業コード 520118	決算付属資料 148・150	頁
	施策体系	施策コード 030502	施策名 下水道等を適切に維持管理する					
	開始年度	昭和28年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等	-						
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公衆トイレ(岡ノ二・内記六丁目及び野家)の清潔保持に努め、市民その他の利用に供する。					
	対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.0	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	シルバー人材センター ほか					
	事業概要	公衆トイレの清掃委託、施設修繕。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費
		需用費	消耗品費、光熱水費、修繕料				283
役務費		建物総合損害共済保険料				1	
委託料		公衆便所清掃委託料				315	
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	538	554	550	553	559
	②補正予算			0	0	
	③流充用額	26	49	48	0	
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越		0	0	0	0	0
	次年度繰越		0	0	0	0
予算と執行の状況 (財源内訳(①④⑥内訳))	一般財源	564	603	598	553	559
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0	0
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.18/0	0.21 / 0	0.1 / 0	0.1 / 0		
⑤概算人件費	1,440	1,680	800	800		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,004	2,283	1,398	1,353		
⑦執行額	564	602	598			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	99.8%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		公衆トイレ数	箇所	3	3	3	/	3
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	稼働日数	日	354	361	349	/	365	365
	単位あたりコスト		1.6	1.7	1.7			
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・公衆便所の管理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項「市町村は、必要と認める場所に公衆便所及び公衆用ごみ容器を設け、これを衛生的に維持管理しなければならない。」に基づく事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・公衆トイレの衛生的な維持管理が図れる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・公衆トイレの清潔保持に努め、市民その他の利用に供するために必要である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		公衆トイレの清潔保持に努め、市民その他に対して公衆トイレの利用を供することができた。	
今後の課題及び方向性		引き続き市民その他に対して公衆トイレの利用を供するため、継続して衛生的に維持管理を行う。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	<p>○案内等の利用の促進を図ること。</p> <p>○公衆便所として設置していくのであれば、一定の防犯対策を検討していく必要があるのではないか。</p> <p>○対象となっている3件の公衆便所は、どのくらいの需要(利用頻度)があるのでしょうか？その需要いかんによっては、近年はコンビニや他の施設のお手洗いも使えたりするので、将来的に公衆便所の撤廃ひいては管理も必要なくなるのではないかと思う</p>

所 見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内 容
	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課						
	作成責任者	山田 信義						
	事業名	農業集落排水施設事業特別会計繰出金						
	会計情報	款 農林業費	項 農業費	目 集落排水費	会計 一般会計	事業コード 510453	決算付属資料 174	頁
	施策体系	施策コード 030502	施策名 下水道等を適切に維持管理する					
	開始年度	昭和61年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等							
	根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	農業集落排水施設事業の健全な運営を図るための農業集落排水施設事業特別会計に対する繰出金。				
	対象者	—	対象者数	—	単位あたりコスト	—
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	農業集落排水施設事業特別会計運営に必要な経費等に対して繰出金を支出する。				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容		H30経費	
	繰出金	農業集落排水施設事業特別会計への繰出金		549,587		
関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	536,568	530,711	546,357	542,563	544,338
	②補正予算			3,230	△ 5,893	
	③流充額	△ 7,004	0			
	④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越					
	次年度繰越					
予算と執行の状況	一般財源	529,564	530,711	549,587	536,670	544,338
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.01/0	0.01 / 0	0.01 / 0	0.01 / 0		
⑤概算人件費	80	80	80	80		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	529,644	530,791	549,667	536,750		
⑦執行額	524,629	530,302	549,587			
執行率 (⑦/⑥×100)	99.1%	99.9%	100.0%	0.0%		

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	繰出金決算額	百万円	524.6/536.6	530.3/530.7	549.6/546.4	/ 542.6	/
	単位あたりコスト		—	—	—		
			/	/	/	/	/
	単位あたりコスト						

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	特別会計に繰出をすることにより、農業集落排水施設事業の円滑な運営を図ることができた。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	特別会計に繰出をすることにより、農業集落排水施設事業の円滑な運営を図ることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	特別会計に繰出をすることにより、農業集落排水施設事業の円滑な運営を図ることができた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		特別会計への繰出金により、農業集落排水施設事業の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		農業集落排水施設事業を円滑に運営するため、継続します。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課												
	作成責任者	山田 信義												
	事業名	下水道事業会計負担金												
	会計情報	款	衛生費	項	下水道費	目	下水道施設費	会計	一般会計	事業コード	540332	決算付属資料	160	頁
	施策体系	施策コード	030502	施策名	下水道等を適切に維持管理する									
	開始年度	平成18年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (企業会計への負担金)												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	下水道事業の健全な運営を図るため、負担金を支出して、下水道事業会計の財政基盤の安定を図ります。										
	対象者	-			対象者数	-			単位あたりコスト	-		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (企業会計への負担金)										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	下水道事業会計への負担金										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		負担金	下水道事業会計への負担金							807,016		
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当予算	①当初	913,465	883,131	876,044	903,233	877,648	
	②補正予算			15,611			
	③流充用額	0	0				
	④繰越額計	0	0	0	0	0	
前年度繰越							
予算と執行の状況 (財源内訳①④⑤内訳)	一般財源	913,465	883,131	891,655	903,233	877,648	
	国支出金	0	0				
	府支出金	0	0				
	地方債	0	0				
	その他特財	0	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.01/0	0.01 / 0	0.01 /	0.01 / 0			
⑤概算人件費	80	80	80	80	80		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	913,545	883,211	891,735	903,313			
⑦執行額	901,654	730,616	807,016				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	98.7%	82.7%	90.5%		0.0%		

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			/	/	/	/	
成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	負担金決算額	百万円	901.7/913.5	730.6/883.1	807.0/876.0	/ 903.2	/
	単位あたりコスト		-	-	-		
			/	/	/	/	/
	単位あたりコスト						

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		企業会計(下水道事業会計)に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		企業会計(下水道事業会計)を円滑に運営するため、継続します。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内 容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	継続して下水道事業会計に負担金を支出します。
	予算額への反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】